

## ジャガイモ畑で交流深める 林保育園と中原こども園ジャガイモ収穫



6/1

2月に植えた「メークイン」と「ニシユタカ」を収穫

林保育園と中原こども園の年長児27人が、下原町荒毛の畑でジャガイモ掘りを体験し、2園の交流を深めました。卒園後に中原小で共に生活することから野菜の収穫体験を通して顔見知りになってもらおうと、初めて実施されたもの。

当日は、土を掘るたびに次々と顔を出すジャガイモに「大きいの採れた!」といった歓声が上がりました。収穫したジャガイモは給食で使うほか各自持ち帰り。林保育園の植薄奏太君は、「カレーにして食べるのが楽しみ」と話していました。

## 児童らの全力競技に声援響く 西瀬小運動会



5/23

背丈ほどの大玉を力を合わせて転がす児童たち

晴天に恵まれた中、西瀬小で運動会が開催されました。児童たちは「かがやく西瀬っ子勝利に向かってバーニング」のスローガンの下、各種競技に全力で取り組みました。

リレーや大玉転がし、玉入れなど、1年生から6年生まで力を合わせて競技。入学間もない1年生が、一生懸命玉入れの籠を狙う姿には、応援席から温かい拍手と声援が送られています。最後は、保護者や地域の皆さんと一緒に六調子音頭の総踊り。会場全体が一体となって盛り上がりしました。

## 出水期前に災害時の行動確認 自主避難訓練



5/24

自衛隊による人員輸送で移動し、受け付けする住民

市では、激甚化・頻発化する自然災害に備え、自主避難訓練を実施し、市民一人一人が災害時に取るべき行動を確認する機会としました。

訓練は、大雨の影響で避難指示を発令した場合を想定。防災行政無線や、消防団の広報活動で避難を周知し、8カ所の指定避難所に市民が避難しました。3つの避難所では、避難所運営訓練を行い、要配慮者対応などを確認。訓練終了後は、新たな防災気象情報の研修会も開催し、講師の気象庁職員は、早めの避難判断を呼びかけました。

## おかげさまで11周年! もぞか周年感謝祭



6/6

ミニトレインも大人気で、多くの来館者の笑顔があふれた

肥薩線の魅力を伝えるため平成27年5月に市が開設した人吉鉄道ミュージアムM.O.Z.O.C.A. ステーション868。同館の11周年を祝い感謝祭が開催され、多くの鉄道ファンや家族連れでにぎわいました。

来場者は列車ペーパークラフトなど手作り体験のほか、屋外での迫力あるSL人吉の動態展示を楽しんでいました。藤下郁美さん(球磨郡相良村)は「SL人吉は肥薩線で走っていた頃以来、久々に動いている姿を見た。汽笛が大きくて、子どもが驚いていた」と話していました。

## 初夏の味覚の収穫楽しむ 人吉梅園梅狩り



5/31

開園と同時に多くの来園者が訪れ、梅の実を次々と収穫した

人吉梅園(上漆田町)で梅狩りの一般開放を行い260人が初夏の味覚の収穫を楽しみました。同園は約8畝に4600本の梅が植えられ、人吉市梅園管理組合が管理しています。

今年が高温の影響で不作だったため、受付時間を短縮し収穫量も1人5キロまでに制限して開催しました。来園者は受け付け後、袋片手に園内を散策。実の大きさや色を品定めしながら丁寧に収穫していました。梅は1キロ300円で精算。来園者は袋いっぱいになった梅を満足そうに持ち帰っていました。

## 民生委員の役割知る こども民生委員活動



6/11

対象者宅を訪ね民生委員児童委員の活動の一端を体験した

民生委員の役割を知ってもらおうと人吉市藍田校区民生委員児童委員協議会では、第三中3年生を対象に「こども民生委員活動」を実施しました。同協議会ではこれまで東間小や大畑小で実施していて、中学生を対象に行うのは初めてです。

生徒たちは、1日民生委員として高齢者宅を訪問。緊張した様子を見せながらも和やかに言葉を交わしていました。同校の大川雅輝さんは「家族以外の人とじっくり話したのは初めて。コミュニケーション能力の大切さを感じた」と話していました。

## 2重ロックで自転車盗難を防ぐ 新中学1年生へのワイヤー錠贈呈式



6/8

松岡市長と中山義久人吉警察署長から贈呈された

自転車の盗難被害防止と、鍵かけの習慣を身に付けてもらうため、人吉地区防犯協会連合会と人吉警察署が人吉管内8校の新中学1年生425人にワイヤー錠を寄付しました。

市役所で行われた贈呈式には、第二中の坂本大河さんと高村こはるさんが生徒を代表して出席。同会会長の松岡市長からワイヤー錠を受け取りました。高村さんは「2重ロックの大切さを意識し、盗難防止をしたい」と決意を述べました。皆さんも、自転車の防犯対策を見直して安全に自転車を利用しましょう。

## 初夏の田んぼで農業を学ぶ 中原小アイガモ農法田植え体験



6/12

目印に合わせ、一本一本丁寧に苗を植え付ける児童たち

農業を使わずに米を育てる有機農法「アイガモ農法」を1年間通して学んでいる中原小4年生が、学校近くの水田で田植えを体験しました。

人吉市有機農業推進協議会の協力の下、苗の植えつけ方の指導を受け、児童たちは順番に田んぼの中へ。にぎやかな雰囲気の中、田植えを体験しました。初めて田植えをした箕田蒼依さんは「田んぼは冷たくてぬるぬるしていたけど楽しかった。お米の収穫が楽しみ」と笑顔で話していました。10月には稲刈りを体験する予定です。